

#871 施工履歴データの活用で発注者との段階確認が効率化



■ ■ 現場詳細 ■ ■ 徳島県那賀町

一級河川那賀川長安口ダムの上流部、那賀町木頭付近の堆積土砂の撤去工事

【施工範囲】 15,000m² 【施工土量】 12,000m³

【ソリューション】 ドローン測量

【稼働建機】 PC200i

(掲載月：2023年10月)

やっぱり安心！スマートコンストラクション



■ ■ 導入経緯 ■ ■

廣間組(有) 代表取締役社長 西田静男さん

これまで経験した現場から、ICT建機を導入することで丁張りや検測員を最小限に減らすことができ、生産性が向上することを実感していました。また、過去にスマートコンストラクションを導入した現場も複数あり、今回で3件目となります。今回の工事は四国の一級河川である那賀川の堆積した土砂を取り除く工事で、降雨時には水位が上昇し施工箇所が水没することで施工進捗の確認ができない恐れがありました。そこで、スマートコンストラクションを活用すれば、PC200iで施工した履歴データがクラウド上に保存されるため、万が一施工箇所が水没するようなことがあっても、どこまで施工が進んでいたかを容易に確認することができ、安心だと考えました。さらに、施工履歴データを段階確認にも応用することで、現場全体の生産性をより向上できると考え導入を決意しました。

施工履歴データを有効活用



■ ■ 導入効果 ■ ■

廣間組(有) 工事部長 松本誠さん

ICT建機を導入したことで現場全体の生産性や安全性が向上しました。PC200iに搭載されたモニターに設計データが表示されることで、現場に丁張りが無くともモニターを見て施工ができました。さらに、施工完了した箇所にバケット刃先を合わせることで高さの確認もできるため、検測員の配置や検測作業が削減されて施工を止めることが無くなりました。また、PC200iのマシンコントロール機能で設計面以上に掘り込まないよう作業機が制御されるため、過掘りをする心配がありませんでした。建機内のモニターに映る施工箇所の色が変化することで進捗状況を把握でき、この施工履歴データはクラウド上にも保存され、そのデータを段階確認にも活用しました。そのため、発注者に現場へ足を運んでもらう必要がなくなり、安全でスムーズに段階確認を進めることができました。今回もスマートコンストラクションを導入し、改めて生産性や安全性の向上につながることを実感しました。今後も積極的にICT活用工事へ取り組んでいきたいと思っております。

廣間組(有) 様

1972年創業の総合建設会社です。建設工事を通して地域社会に貢献できるよう活動しております。



代表取締役社長 西田静男 さん



工事部長 松本誠 さん